

# 安心社会への新たな発展の布石

## 1999～2000年度・経済情勢報告

### 「1999～2000 年度・経済情勢報告」

経済情勢報告は、連合総研が、毎年1回、勤労者報告を取り巻く経済情勢をとりまとめて発表するもので、今回で12回目となった。本報告書は、当研究所の経済社会研究委員会の議論を踏まえ、当研究所の責任において取りまとめたものである。

第Ⅰ部では、内外情勢を分析。世界経済をみると、国際金融市場の不安定が生じたため、90年代の行き過ぎた市場万能主義に反省が迫られ、経済は社会のためにあるとの視点が戻りつつある。日本経済については、政策不況から脱しつつある景気の現状を分析した。また「3つの過剰」という議論に巻き込まれることなく景気の自律回復、雇用情勢の改善への課題を検討した。

第Ⅱ部では、競争力とは、国民の生活水準の持続的向上をはかることとの視点から、生産性の向上の源泉である技術開発と人材形成の問題を取り上げた。情報革命といわれる生産技術体系の変化が経済社会に与える影響を踏まえつつ、政府の果たすべき役割を検討した。人材形成については、日本の特色である長期雇用が人材形成に果たしている役割を分析し、その長所を失わないための政策課題を検討した。

第Ⅲ部では、勤労者の視点に立った望ましい経済社会モデルについての論点を考察し、今回の不況が雇用構造にいかなるマイナスの影響を与えているかを検討し、次に厳しい情勢の中で労働組合にとって、よりよき企業モデル、国民不安を解消する福祉モデルは何かとの視点を提供した。

### 目次

#### 第Ⅰ部 内外経済の動向：経済の安定に欠かせない適切な経済政策

##### 第1章 世界経済：グローバル経済の試練と課題

##### 第2章 景気回復への道を探る日本経済

##### 第3章 「3つの過剰」問題をどうみるか

##### 第4章 内需主導の景気回復を促すために

#### 第Ⅱ部 中長期的な経済発展の基礎

##### はじめに：競争力とは何か

##### 第1章 情報革命と技術開発：現状と課題

##### 第2章 日本型雇用システムと人的資本形成

#### 第Ⅲ部 雇用と生活保障の新次元

##### 第1章 今次不況下の雇用構造の変化

##### 第2章 企業改革と雇用・労働の行方

##### 第3章 安定した生涯生活の保障をめざして

21世紀への基本課題：維持可能な社会保障制度の構築